

# INTERIOR

## 「操る」ことにドライバーを中心とする機能主義、ダブルサラウンドコクピット――

ドライバーとパッセンジャーがそれぞれ固有の空間を所有し、ドライビングを愉しむ1 by 1のダブルサラウンドコクピット。そこでは入にストレスを強いる要素を極力排除、最適なドライビングポジションを基本にしながらドライバーが操作しやすいペダルレイアウト、見やすい計器類、指先で触るだけで判別できる大きめのスイッチ類…ドライバーがその能力を十分に発揮できるように、人間優先主義のコクピットづくりが貫かれている。

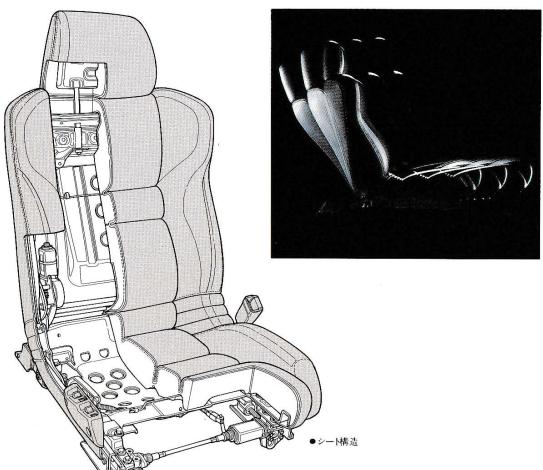


## クラフトマンシップと合理性の融合――

センターパネルは、4層の金属メッキ処理によりガンブラックカラーのトーンを演出、重量感のある高品位なメタルライクパネルが完成した。また、インパネ周辺の構造は軽くて強いウレタン基材で構成。表面は、耐候性にすぐれた、天然皮革のシボを忠実に再現する精密転写表皮で包み込み、熟練した職人がダブルステッチの縫製を施し、インパネ基材への貼り込みも手加工で丹念に行なっている。継ぎ目のないフルパッド形式で高品質感を演出しながら全体的に包み込むようなソフトフェアシティに仕上げた。

## 量産乗用車としては初めての軽量アルミフレームシートの採用――

フレームからスライドレールまでアルミニウム化、スポーツ走行時もドライバーをしっかりとサポートするモノフォルムパケット。運転席、助手席ともにパワーリクライニング＆パワースライディングを装備。シートベルトロアアンカーが直接シートに取付けられ、滑りしてもベルトがしっかりと腰骨

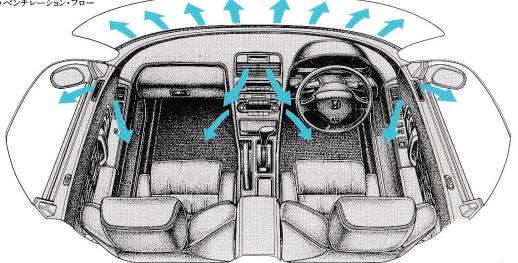


にフィットするように配慮している。パッド構造はバックレスト、クッション、サイドサポートを異硬度パッドで一体成形。シート前面は上質な本革を使用。長期間にわたって高品質感が保てるよう耐候性にも配慮している。

## NSX専用に開発されたフルオートエアコンディショニングシステム――

全ユニットをコンパクトに設計、縦に直列配置することで乗員の足元空間を確保したフルオートエアコン。希望温度にセットするだけで気温、風量、内外気切り換え、吹き出しが切り換えをコンピュータがファインコントロール。スポーツカーを操る愉しみを爽やかに満たす。

### ●ベンチレーション・フロー



## NSX専用ホンダBOSEサウンドシステム――

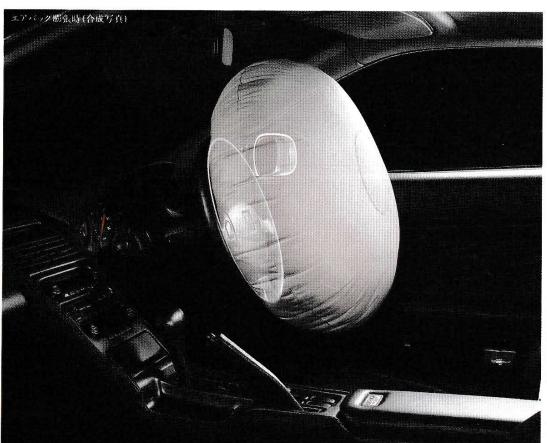
BOSE社がNSXの室内空間に合わせて専用設計。ドライバーとパッセンジャーの耳の位置



が最良のリスニングポイントとなるよう、専用のイコライザーとアンプをエンクロージャー・ボックスに納めた4スピーカー(前後左右)+AM/FMチューナー、カセットデッキシステムを完成。ライブ感覚にあふれたダイナミックな音響空間の創造をめざした。

## 走りへの大いなる安心感、SRSエアバッグシステム――

国産車で初めてホンダがつくり上げた信頼のメカニズム、SRSエアバッグシステムをNSXも採用。シートベルトと併用することで、万一の衝突時にドライバーの顔面への衝撃を緩和する装置。前方向からの衝突が起った場合、一定以上の衝撃をセンサーが感知するとインフレーターが作動。瞬間に膨張した、容量60㍑のエアバッグがドライバーの顔面を受け止め、その後から窒素ガスを効果的に排出し、速やかに収縮することで衝撃を吸収、緩和する。またスパークの変形で衝撃を緩和するエネルギー吸收ステアリングホイールも採用。ステアリングホイールは、チルト機構とテレスコピック機構も同時装着している。



## SRS AIRBAG SYSTEM

\*SRS=Supplemental Restraint System (運転席専用 シートベルト補助 乗員保護装置)